

26. 8. 2004

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

REC'D 16 SEP 2004

WIPO PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2003年 8月28日

出 願 番 号  
Application Number: 特願2003-303811  
[ST. 10/C]: [JP2003-303811]

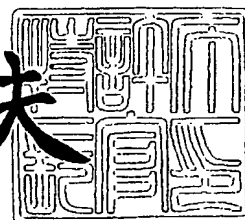
出 願 人  
Applicant(s): 昭和電工株式会社

PRIORITY DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 6月 4日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願  
【整理番号】 SDP4728  
【提出日】 平成15年 8月28日  
【あて先】 特許庁長官 今井 康夫 殿  
【国際特許分類】 A61K 7/00  
【発明者】  
    【住所又は居所】 千葉県千葉市緑区大野台一丁目1番1号 昭和電工株式会社 研究開発センター内  
    【氏名】 米田 正  
【特許出願人】  
    【識別番号】 000002004  
    【住所又は居所】 東京都港区芝大門一丁目13番9号  
    【氏名又は名称】 昭和電工株式会社  
    【代表者】 大橋 光夫  
【代理人】  
    【識別番号】 100081086  
    【住所又は居所】 東京都中央区日本橋人形町二丁目2番6号 堀口第2ビル7階 大家特許事務所  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 大家 邦久  
    【電話番号】 03(3669)7714  
【代理人】  
    【識別番号】 100117732  
    【住所又は居所】 東京都中央区日本橋人形町2丁目2番6号 堀口第2ビル7階 大家特許事務所  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 小澤 信彦  
    【電話番号】 03(3669)7714  
【代理人】  
    【識別番号】 100121050  
    【住所又は居所】 東京都中央区日本橋人形町2丁目2番6号 堀口第2ビル7階 大家特許事務所  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 林 篤史  
    【電話番号】 03(3669)7714  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 043731  
    【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1  
    【物件名】 明細書 1  
    【物件名】 要約書 1  
    【包括委任状番号】 0213106

**【書類名】 特許請求の範囲****【請求項 1】**

リポペプチド類化合物を0.1～5質量%と、ポリオキシエチレングリセリルエーテル脂肪酸エステル及び／またはポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルを0.1～20質量%含む化粧料組成物。

**【請求項 2】**

リポペプチド類化合物が、微生物由来である請求項 1 に記載の化粧料組成物。

**【請求項 3】**

リポペプチド類化合物が、サーファクチンナトリウムである請求項 2 に記載の化粧料組成物。

**【請求項 4】**

請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の化粧料組成物を用いるクレンジング化粧料。

**【請求項 5】**

化粧料が、ジェル状、またはクリーム状である請求項 4 に記載のクレンジング化粧料。

【書類名】明細書

【発明の名称】化粧料

【技術分野】

【0001】

本発明は化粧料に関する。さらに詳しくは、微生物由来のリポペプチド類化合物と、ポリオキシエチレングリセリルエーテル脂肪酸エステル及び／またはポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルを含み、使用感に優れ、クレンジング化粧料とした場合には洗い流し性が良好な化粧料に関する。

【背景技術】

【0002】

微生物由来のリポペプチド類化合物としては、例えばサーファクチンナトリウムが化粧品原料として知られており、皮膚刺激性が低く、生分解性が良好であることから注目されており、例えば特開2000-327591号公報（特許文献1）や特開2003-176211（特許文献2）に開示されている。

しかしながら、例えば特開2003-176211号公報に開示されているクレンジング化粧料は、化粧のクレンジング性には優れているものの、水での洗い流し性が十分に満足の得られるものではなかった。

特にジェル状、クリーム状のクレンジング化粧料で洗い流し性がよいものはなかった。

【0003】

【特許文献1】特開2000-327591号公報

【特許文献2】特開2003-176211号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明の課題は、皮膚刺激性が極めて低く、使用感に優れ、安定で、クレンジング化粧料とした場合には洗い流し性が良好な化粧料を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明者らは、鋭意検討を重ねた結果、上記の課題がリポペプチド類化合物と、ポリオキシエチレングリセリルエーテル脂肪酸エステル及び／またはポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルを含む化粧料によって解決されることを見出し、本発明を完成するに至った。

【0006】

すなわち本発明は、以下の事項に関する。

1. リポペプチド類化合物を0.1～5質量％と、ポリオキシエチレングリセリルエーテル脂肪酸エステル及び／またはポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルを0.1～20質量％含む化粧料組成物。
2. リポペプチド類化合物が、微生物由来である前記1に記載の化粧料組成物。
3. リポペプチド類化合物が、サーファクチンナトリウムである前記2に記載の化粧料組成物。
4. 前記1乃至3のいずれかに記載の化粧料組成物を用いるクレンジング化粧料。
5. 化粧料が、ジェル状、またはクリーム状である前記4に記載のクレンジング化粧料。

【0007】

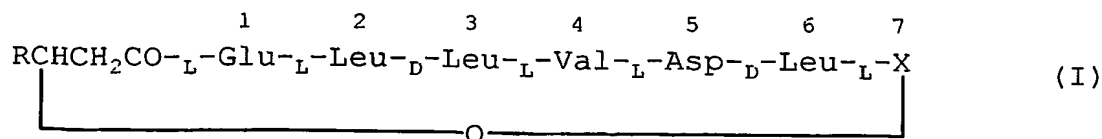
以下、本発明を詳細に説明する。

本発明において用いられるリポペプチド類化合物としては、例えば特開2000-327591号公報に記載されているバチルスズブチリス（*Bacillus subtilis*）等のバチルス属微生物により生産されるリポペプチド類化合物が挙げられ、例えばサーファクチンの塩及びその類縁化合物の塩が好ましい例として挙げられる。リポペプチド類化合物は、通常、微生物由来の化合物である。

【0008】

ここで、サーファクチンとは、一般式 (I)

【化 1】



で示される化合物、または一般式 (I) で示される 2 種以上化合物を含有する組成物である。

【 0 0 0 9 】

上記一般式(I)において、Xは、ロイシン、イソロイシン、バリン、グリシン、セリン、アラニン、トレオニン、アスパラギン、グルタミン、アスパラギン酸、グルタミン酸、リジン、アルギニン、システイン、メチオニン、フェニルアラニン、チロシン、トリプトファン、ヒスチジン、プロリン、4-ヒドロキシプロリン及びホモセリンからなる群から選ばれるアミノ酸残基を表わす。好ましいXはロイシン、イソロイシンまたはバリンである。

【 0 0 1 0 】

Rは、炭素数8～14のノルマルアルキル基、炭素数8～14のイソアルキル基または炭素数8～14のアンテイソアルキル基である。ノルマルアルキル基は直鎖アルキル基、イソアルキル基は通常  $(\text{CH}_3)_2\text{CH}-(\text{CH}_2)_n-$  からなる構造であり、アンテイソアルキル基は通常  $\text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}(\text{CH}_3)-(\text{CH}_2)_n-$  からなる構造である。

【 0 0 1 1 】

サーファクシンの類縁化合物とは、上記一般式（I）のアミノ酸が他のアミノ酸に置き換わったものをいう。具体的には二番目のL-ロイシン、四番目のL-バリン、六番目のD-ロイシン等が他のアミノ酸に置き換わったものが挙げられるが、これらに限定されない。以下、本明細書においては「サーファクシンまたはその類縁化合物」を「サーファクシン」ということがある。

【0 0 1 2】

サーファクチンは、上記一般式（Ⅰ）から分かるように無機塩や有機塩として利用することができる。対イオンとなる金属はナトリウム、カリウム、リチウム等のアルカリ金属、カルシウム、マグネシウム等のアルカリ土類金属等をはじめとしてサーファクチンと塩を形成するものであれば種類を問わない。

**【 0 0 1 3 】**

有機塩類としてはトリメチルアミン、トリエチルアミン、トリブチルアミン、モノエタノールアミン、ジエタノールアミン、トリエタノールアミン、リジン、アルギニン、コリン等を挙げることができる。

【 0 0 1 4 】

これらの中でもナトリウム、カリウム、モノエタノールアミン、ジエタノールアミン、トリエタノールアミン、リジン、アルギニンが好ましく、特にナトリウムが好ましい。

【 0 0 1 5 】

サーファクチンナトリウムは、昭和電工株式会社からアミノフェクト（昭和電工株式会社登録商標）の商品名で販売されている。

【 0 0 1 6 】

本発明の化粧料におけるリポペプチド類化合物の配合量は好ましくは0.1～5質量%、より好ましくは0.2～2質量%、さらに好ましくは0.4～1質量%である。0.1質量%未満では化粧料の安定性が十分でなく、また5質量%を超えて使用した場合もむしろ安定性は悪くなる。

【0017】

本発明において用いられるポリオキシエチレングリセリルエーテル脂肪酸エステル及び／またはポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルは、通常化粧料で用いられるものであれば特に制限なく使用することができる。例えば、ポリオキシエチレングリセリルエ

ーテル脂肪酸エステルとしては、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (3) グリセリル、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (5) グリセリル、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (10) グリセリル、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (20) グリセリル、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (30) グリセリル、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (40) グリセリル、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (50) グリセリル、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (60) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (3) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (5) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (6) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (8) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (10) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (15) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (20) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (25) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (30) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (40) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (50) グリセリル、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (60) グリセリル、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (3) グリセリル、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (4) グリセリル、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (5) グリセリル、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (6) グリセリル、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (10) グリセリル、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (20) グリセリル、ジステアリン酸ポリオキシエチレン (4) グリセリル、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (3) グリセリル、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (5) グリセリル、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (10) グリセリル、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (20) グリセリル、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (30) グリセリル、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (40) グリセリル、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (50) グリセリル、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (60) グリセリル等が挙げられ、例えばクレンジング化粧料として洗い流し性を向上させる目的で用いる場合は、親水性油性バランス (hydrophile-lipophile balance; HLB) 6~13のものが好ましく、これらの中でトリイソステアリン酸ポリオキシエチレン (20) グリセリルが特に好ましい。ポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルとしては、モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビット、オレイン酸ポリオキシエチレン (40) ソルビット、テトラオレイン酸ポリオキシエチレン (4) ソルビット、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (3) ソルビット、テトラオレイン酸ポリオキシエチレン (30) ソルビット、テトラオレイン酸ポリオキシエチレン (40) ソルビット、テトラオレイン酸ポリオキシエチレン (60) ソルビット、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (3) ソルビット、オレイン酸ポリオキシエチレン (40) ソルビット、テトラステアリン酸ポリオキシエチレン (60) ソルビット、ヘキサオレイン酸ポリオキシエチレン (6) ソルビット、ヘキサステアリン酸ポリオキシエチレンソルビット、ペンタオレイン酸ポリオキシエチレン (40) ソルビット等が挙げられ、例えばクレンジング化粧料として洗い流し性を向上させる目的で用いる場合は、HLB 6~13のものが好ましく、これらの中でテトラオレイン酸ポリオキシエチレン (30) ソルビットが特に好ましい。これらを1種単独または2種以上を組み合わせ用いることができる。

#### 【0018】

本発明の化粧料におけるポリオキシエチレングリセリルエーテル脂肪酸エステル及び／またはポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルの配合量は好ましくは0.1~20質量%、より好ましくは0.4~18質量%、さらに好ましくは1~16質量%である。0.1質量%未満では化粧料の安定性や洗い流し性等で本発明の目的を達成できず、また20質量%を超えると安定性や使用感が悪くなるため好ましくない。

#### 【0019】

本発明の化粧料は常法に従って製造することができる。すなわち、汎用の攪拌装置や汎用の乳化装置を用いて調製することができる。また、ジェル状のクレンジング化粧料とする場合は、特開2003-176211号公報に開示されているような方法で調製することも可能で

ある。また、本発明の化粧料の使用形態としては、例えば化粧水、ローション、乳液、美容液、クリーム、パック、化粧下地、メイクアップ料、マッサージ料、クレンジング料等が挙げられ、中でも特開2003-176211号公報に開示されているような方法で調製したクレンジング料とした場合、水での洗い流し性が良好となり、好適である。

#### 【0020】

尚、本発明の化粧料には、本発明の目的を達成する範囲で化粧料に通常用いられる任意の成分を配合することができる。

このような成分としては、例えば、

オゾケライト、 $\alpha$ -オレフィンオリゴマー、軽質イソパラフィン、軽質流動イソパラフィン、スクワレン、スクワラン、合成スクワラン、植物性スクワラン、セレシン、パラフィン、ポリエチレン末、ポリブテン、マイクロクリスタリンワックス、流動イソパラフィン、流動パラフィン、ミネラル油、ワセリン等の炭化水素類；

#### 【0021】

ホホバ油、カルナウバロウ、キャンデリラロウ、コメヌカロウ、セラック、ラノリン、ミンク皮脂ロウ、鯨ロウ、サトウキビロウ、マッコウクジラ油、ミツロウ、モンタンロウ等の天然ロウ類、アボガド油、アルモンド油、オリーブ油、エクストラバージンオリーブ油、ゴマ油、コメヌカ油、米油、コメ胚芽油、コーン油、サフラワー油、大豆油、トウモロコシ油、ナタネ油、パーシク油、パーム核油、パーム油、ヒマシ油、ヒマワリ油、ハイオレイックヒマワリ油、グレープシード油、綿実油、ヤシ油、水添ヤシ油、牛脂、硬化油、馬油、ミンク油、卵黄油、卵黄脂肪油、ローズヒップ油、ククイナッツ油、月見草油、小麦胚芽油、落花生油、ツバキ油、サザンカ油、カカオ脂、モクロウ、牛骨脂、牛脚油、豚脂、馬脂、羊脂、シアバター、マカデミアナッツ油、メドウホーム油等の天然油脂類；

#### 【0022】

ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸、 $\gamma$ -リノレン酸、イソステアリン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、ウンデシレン酸、ヤシ油脂肪酸等の脂肪酸類；

#### 【0023】

イソステアリルアルコール、オクチルドデカノール、ヘキシルデカノール、コレステロール、フィトステロール、ラウリルアルコール、ミリスチルアルコール、セタノール、ステアリルアルコール、オレイルアルコール、ベヘニルアルコール、セトステアリルアルコール等の高級アルコール類；

#### 【0024】

バチルアルコール、キミルアルコール、セラキルアルコール、イソステアリルグリセリルエーテル等のアルキルグリセリルエーテル類；

#### 【0025】

ミリスチン酸イソプロピル、ミリスチン酸ブチル、パルミチン酸イソプロピル、ステアリン酸エチル、ステアリン酸ブチル、オレイン酸エチル、リノール酸エチル、リノール酸イソプロピル、カプリル酸セチル、ラウリン酸ヘキシル、ミリスチン酸イソオクチル、ミリスチン酸デシル、ミリスチン酸ミリスチル、ミリスチン酸セチル、ミリスチン酸オクタデシル、パルミチン酸セチル、ステアリン酸ステアリル、オレイン酸デシル、オレイン酸オレイル、リシノール酸セチル、ラウリン酸イソステアリル、ミリスチン酸イソトリデシル、ミリスチン酸イソセチル、ミリスチン酸イソステアリル、ミリスチン酸オクチルドデシル、パルミチン酸2-エチルヘキシル、パルミチン酸イソセチル、パルミチン酸イソステアリル、ステアリン酸2-エチルヘキシル、ステアリン酸イソセチル、オレイン酸イソデシル、オレイン酸オクチルドデシル、リシノール酸オクチルドデシル、イソステアリン酸エチル、イソステアリン酸イソプロピル、2-エチルヘキサノ酸セチル、2-エチルヘキサノ酸セトステアリル、2-エチルヘキサノ酸ステアリル、イソステアリン酸ヘキシル、ジオクタン酸エチレングリコール、ジオレイン酸エチレングリコール、ジカプリル酸プロピレングリコール、ジ(カプリル・カプリン酸)プロピレングリコール、ジカプリン酸

プロピレングリコール、ジオレイン酸プロピレングリコール、ジカプリン酸ネオペンチルグリコール、ジオクタン酸ネオペンチルグリコール、トリカプリル酸グリセリル、トリ 2-エチルヘキサン酸グリセリル、トリ (カプリル・カプリン酸) グリセリル、トリ (カプリル酸・カプリン酸・ステアリン酸) グリセリル、トリウンデシル酸グリセリル、トリイソパルミチン酸グリセリル、トリイソステアリン酸グリセリル、トリ 2-エチルヘキサン酸トリメチロールプロパン、トリイソステアリン酸トリメチロールプロパン、テトラ 2-エチルヘキサン酸ペンタエリスリチル、テトラミリスチン酸ペンタエリスリチル、テトライソステアリン酸ペンタエリスリチル、テトライソステアリン酸ジグリセリル、ネオペンタン酸オクチルドデシル、オクタン酸イソセチル、オクタン酸イソステアリル、イソペラルゴン酸 2-エチルヘキシル、ジメチルオクタン酸ヘキシルデシル、ジメチルオクタン酸オクチルドデシル、イソパルミチン酸 2-エチルヘキシル、イソステアリン酸イソセチル、イソステアリン酸イソステアリル、イソステアリン酸オクチルドデシル、乳酸ラウリル、乳酸ミリスチル、乳酸セチル、乳酸オクチルドデシル、クエン酸トリエチル、クエン酸アセチルトリエチル、クエン酸アセチルトリブチル、クエン酸トリオクチル、クエン酸トリイソセチル、クエン酸トリオクチルドデシル、リンゴ酸ジイソステアリル、ヒドロキシステアリン酸 2-エチルヘキシル、コハク酸ジ 2-エチルヘキシル、アジピン酸ジイソプロピル、アジピン酸ジイソブチル、アジピン酸ジオクチル、アジピン酸ジヘプチルウンデシル、セバシン酸ジエチル、セバシン酸ジイソプロピル、セバシン酸ジオクチル、ステアリン酸コレステリル、イソステアリン酸コレステリル、ヒドロキシステアリン酸コレステリル、オレイン酸コレステリル、オレイン酸ジヒドロコレステリル、イソステアリン酸フィトステリル、オレイン酸フィトステリル、12-ステアロイルヒドロキシステアリン酸イソセチル、12-ステアロイルヒドロキシステアリン酸ステアリル、12-ステアロイルヒドロキシステアリン酸イソステアリル、酢酸ポリオキシエチレン (3) ポリオキシプロピレン (1) セチルエーテル、酢酸ポリオキシエチレン (3) ポリオキシプロピレン (1) イソセチルエーテル、イソノナン酸イソノニル、イソノナン酸オクチル、イソノナン酸トリデシル、イソノナン酸イソトリデシル等のエステル類；

**【0026】**

メチルポリシロキサン、メチルフェニルポリシロキサン、メチルハイドロジェンポリシロキサン、メチルシクロポリシロキサン、オクタメチルシクロテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサン、オクタメチルトリシロキサン、デカメチルテトラシロキサン、テトラデカメチルヘキサシロキサン、高重合メチルポリシロキサン、ジメチルシロキサン・メチル (ポリオキシエチレン) シロキサン・メチル (ポリオキシプロピレン) シロキサン共重合体、ジメチルシロキサン・メチル (ポリオキシエチレン) シロキサン共重合体、ジメチルシロキサン・メチル (ポリオキシプロピレン) シロキサン共重合体、ジメチルシロキサン・メチルセチルオキシシロキサン共重合体、ジメチルシロキサン・メチルステアロキシシロキサン共重合体、ポリエーテル変性シリコーン、アルコール変性シリコーン、アルキル変性シリコーン、アミノ変性シリコーン等のシリコーン油類；

**【0027】**

エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、ポリエチレングリコール、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、グリセリン、ジグリセリン、ポリグリセリン、3-メチル-1, 3-ブタンジオール、1, 3-ブタンジオール、1, 2-ペンタンジオール、1, 2-ヘキサジオール等の多価アルコール類；

**【0028】**

マンニトール、ソルビトール、キシリトール、マルチトール、エリスリトール、ペンタエリスリトール、グルコース、ショ糖、果糖、乳糖、マルトース、キシロース、トレハロース等の糖類；

**【0029】**

アルギン酸ナトリウム、カラギーナン、寒天、ファーセララン、グアーガム、クインス



シード、コンニャクマンナン、タマリンドガム、タラガム、デキストリン、デンプン、ローカストビーンガム、アラビアガム、ガッティガム、カラヤガム、トラガカントガム、アラビノガラクトサン、ペクチン、マルメロ、キトサン、デンプン、カードラン、キサントガム、ジェランガム、シクロデキストリン、デキストラン、プルラン、微結晶セルロース、メチルセルロース、エチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、カルボキシデンプン、カチオン化セルロース、デンプンリン酸エステル、カチオン化グアーガム、カルボキシメチル・ヒドロキシプロピル化グアーガム、ヒドロキシプロピル化グアーガム、アルブミン、カゼイン、ゼラチン、ポリアクリル酸ナトリウム、ポリアクリル酸アミド、カルボキシビニルポリマー、ポリエチレンイミン、高重合ポリエチレングリコール、ポリビニルアルコール、ポリビニルピロリドン、ポリビニルエーテル、ポリアクリルアミド、アクリル酸共重合体、メタクリル酸共重合体、マレイン酸共重合体、ビニルピリジン共重合体、エチレン／アクリル酸共重合体、ビニルピロリドン系ポリマー、ビニルアルコール／ビニルピロリドン共重合体、窒素置換アクリルアミド系ポリマー、アミノ変性シリコーン、カチオン化ポリマー、ジメチルアクリルアンモニウム系ポリマー、アクリル酸系アニオンポリマー、メタクリル酸系アニオンポリマー、変性シリコーン、アクリル酸メタクリル酸アルキル(C10～30)共重合体、ポリオキシエチレン／ポリオキシプロピレン共重合体等の高分子類；

**【0030】**

エタノール、イソプロピルアルコール、1-ブタノール、2-ブタノール、ベンジルアルコール等のアルコール類；

**【0031】**

ヤシ油脂肪酸カリウム、ヤシ油脂肪酸ナトリウム、ヤシ油脂肪酸トリエタノールアミン、ラウリン酸カリウム、ラウリン酸ナトリウム、ラウリン酸トリエタノールアミン、ミリスチン酸カリウム、ミリスチン酸ナトリウム、ミリスチン酸イソプロパノールアミン、パルミチン酸カリウム、パルミチン酸ナトリウム、パルミチン酸イソプロパノールアミン、ステアリン酸カリウム、ステアリン酸ナトリウム、ステアリン酸トリエタノールアミン、オレイン酸カリウム、オレイン酸ナトリウム、ヒマシ油脂肪酸ナトリウム、ウンデシレン酸亜鉛、ラウリン酸亜鉛、ミリスチン酸亜鉛、ミリスチン酸マグネシウム、パルミチン酸亜鉛、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸アルミニウム、ミリスチン酸カルシウム、ミリスチン酸マグネシウム、ジミリスチン酸アルミニウム、イソステアリン酸アルミニウム、ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸、ポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸ナトリウム、ポリオキシエチレントリデシルエーテル酢酸、ポリオキシエチレントリデシルエーテル酢酸ナトリウム、ステアロイル乳酸ナトリウム、イソステアロイル乳酸ナトリウム、ラウロイルサルコシンナトリウム、ヤシ油脂肪酸サルコシン、ヤシ油脂肪酸サルコシンナトリウム、ヤシ油脂肪酸サルコシントリエタノールアミン、ラウロイルサルコシン、ラウロイルサルコシンカリウム、ラウロイルサルコシントリエタノールアミン、オレオイルサルコシン、ミリストイルサルコシンナトリウム、ステアロイルグルタミン酸ナトリウム、ヤシ油脂肪酸アシルグルタミン酸、ヤシ油脂肪酸アシルグルタミン酸カリウム、ヤシ油脂肪酸アシルグルタミン酸ナトリウム、ヤシ油脂肪酸アシルグルタミン酸トリエタノールアミン、ラウロイルアシルグルタミン酸、ラウロイルアシルグルタミン酸カリウム、ラウロイルアシルグルタミン酸ナトリウム、ラウロイルアシルグルタミン酸トリエタノールアミン、ミリストイルアシルグルタミン酸、ミリストイルアシルグルタミン酸カリウム、ミリストイルアシルグルタミン酸ナトリウム、ステアロイルアシルグルタミン酸、ステアロイルアシルグルタミン酸カリウム、ステアロイルアシルグルタミン酸二ナトリウム、硬化牛脂脂肪酸アシルグルタミン酸ナトリウム、ヤシ油脂肪酸・硬化牛脂脂肪酸アシルグルタミン酸ナトリウム、ヤシ油脂肪酸メチルアラニンナトリウム、ラウロイルメチルアラニン、ラウロイルメチルアラニンナトリウム、ラウロイルメチルアラニントリエタノールアミン、ミリストイルメチルアラニンナトリウム、ラウロイルメチルタウリンナトリウム、ヤシ油脂肪酸メチルタウリンカリウ

ム、ヤシ油脂肪酸メチルタウリンナトリウム、ヤシ油脂肪酸メチルタウリンマグネシウム、ミリスチルメチルタウリンナトリウム、パルミチルメチルタウリンナトリウム、ステアロイルメチルタウリンナトリウム、オレオイルメチルタウリンナトリウム、アルカン  
スルホン酸ナトリウム、テトラデセンスルホン酸ナトリウム、スルホコハク酸ジオクチル  
ナトリウム、スルホコハク酸ラウリル二ナトリウム、ヤシ油脂肪酸エチルエステルスルホ  
ン酸ナトリウム、ラウリル硫酸ナトリウム、ラウリル硫酸トリエタノールアミン、セチル  
硫酸ナトリウム、アルキル (11, 13, 15) 硫酸トリエタノールアミン、アルキル (12, 13) 硫酸ナトリウム、アルキル (12, 13) 硫酸トリエタノールアミン、アル  
キル (12, 14, 16) 硫酸アンモニウム、アルキル (12~13) 硫酸ジエタノール  
アミン、アルキル (12~14) 硫酸トリエタノールアミン、アルキル (12~15) 硫  
酸トリエタノールアミン、ヤシ油アルキル硫酸マグネシウム・トリエタノールアミン、ラ  
ウリル硫酸アンモニウム、ラウリル硫酸カリウム、ラウリル硫酸マグネシウム、ラウリル  
硫酸モノエタノールアミン、ラウリル硫酸ジエタノールアミン、ミリスチル硫酸ナトリウ  
ム、ステアリル硫酸ナトリウム、オレイル硫酸ナトリウム、オレイル硫酸トリエタノール  
アミン、ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム、ポリオキシエチレンラウ  
リルエーテル硫酸トリエタノールアミン、ポリオキシエチレン (1) アルキル (11, 13, 15) エーテル硫酸ナトリウム、ポリオキシエチレン (1) アルキル (11, 13, 15) エーテル硫酸トリエタノールアミン、ポリオキシエチレン (3) アルキル (11~15) エーテル硫酸ナトリウム、ポリオキシエチレン (2) アルキル (12, 13) エー  
テル硫酸ナトリウム、ポリオキシエチレン (3) アルキル (12~14) エーテル硫酸ナ  
トリウム、ポリオキシエチレン (3) アルキル (12~15) エーテル硫酸ナトリウム、  
ポリオキシエチレン (2) ラウリルエーテル硫酸ナトリウム、ポリオキシエチレン (3)  
ミリスチルエーテル硫酸ナトリウム、高級脂肪酸アルカノールアミド硫酸エステルナトリ  
ウム、ラウリルリン酸、ラウリルリン酸ナトリウム、セチルリン酸カリウム、セチルリン  
酸ジエタノールアミン、ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸、ポリオキシエチレ  
ンラウリルエーテルリン酸、ポリオキシエチレンラウリルエーテルリン酸ナトリウム、ポ  
リオキシエチレンセチルエーテルリン酸、ポリオキシエチレンセチルエーテルリン酸ナト  
リウム、ポリオキシエチレンステアリルエーテルリン酸、ポリオキシエチレンオレイルエ  
ーテルリン酸、ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ナトリウム、ポリオキシエチ  
レンアルキルフェニルエーテルリン酸、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリ  
ン酸ナトリウム、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸トリエタノールア  
ミン、ポリオキシエチレンオクチルエーテルリン酸、ポリオキシエチレン (10) アルキ  
ル (12, 13) エーテルリン酸、ポリオキシエチレンアルキル (12~15) エーテル  
リン酸、ポリオキシエチレンアルキル (12~16) エーテルリン酸、ポリオキシエチレ  
ンラウリルエーテルリン酸トリエタノールアミン、ポリオキシエチレンオレイルエーテル  
リン酸ジエタノールアミン等の陰イオン界面活性剤；

#### 【0032】

ジオクチルアミン、ジメチルステアリルアミン、トリラウリルアミン、ステアリン酸ジ  
エチルアミノエチルアミド、塩化ラウリルトリメチルアンモニウム、塩化セチルトリメチ  
ルアンモニウム、臭化セチルトリメチルアンモニウム、セチルトリメチルアンモニウムサ  
ッカリン、塩化ステアリルトリメチルアンモニウム、塩化アルキル (20~22) トリメ  
チルアンモニウム、臭化ラウリルトリメチルアンモニウム、塩化アルキル (16, 18)  
トリメチルアンモニウム、臭化ステアリルトリメチルアンモニウム、ステアリルトリメチ  
ルアンモニウムサッカリン、塩化アルキル (28) トリメチルアンモニウム、塩化ジ (ポ  
リオキシエチレン) オレイルメチルアンモニウム (2EO)、塩化ジポリオキシエチレン  
ステアリルメチルアンモニウム、塩化ポリオキシエチレン (1) ポリオキシプロピレン (25)  
ジエチルメチルアンモニウム、塩化トリ (ポリオキシエチレン) ステアリルアンモ  
ニウム (5EO)、塩化ジステアリルジメチルアンモニウム、塩化ジアルキル (12~15)  
ジメチルアンモニウム、塩化ジアルキル (12~18) ジメチルアンモニウム、塩化  
ジアルキル (14~18) ジメチルアンモニウム、塩化ジココイルジメチルアンモニウム

、塩化ジセチルジメチルアンモニウム、塩化イソステアリルラウリルジメチルアンモニウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ミリスチルジメチルベンジルアンモニウム、塩化ラウリルジメチル（エチルベンジル）アンモニウム、塩化ステアリルジメチルベンジルアンモニウム、塩化ラウリルピリジニウム、塩化セチルピリジニウム、塩化ラウロイルコラミノホルミルメチルピリジニウム、塩化ステアロイルコラミノホルミルメチルピリジニウム、臭化アルキルイソキノリウム、塩化メチルベンゼトニウム、塩化ベンゼトニウム等の陽イオン界面活性剤；

#### 【0033】

2-アルキル-N-カルボキシメチル-N-ヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタイン、塩酸アルキルジアミノエチルグリシン、ラウリルジアミノエチルグリシンナトリウム、ウンデシルヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタインナトリウム、ウンデシル-N-カルボキシメチルイミダゾリニウムベタイン、ヤシ油脂肪酸アシル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミン二ナトリウム、ヤシ油脂肪酸アシル-N-カルボキシエトキシエチル-N-カルボキシエチルエチレンジアミン二ナトリウム、ヤシ油脂肪酸アシル-N-カルボキシメトキシエチル-N-カルボキシメチルエチレンジアミン二ナトリウム、ラウリルアミノプロピオン酸ナトリウム、ラウリルアミノジプロピオン酸ナトリウム、ラウリルアミノプロピオン酸トリエタノールアミン、パーム油脂肪酸アシル-N-カルボキシエチル-N-ヒドロキシエチルエチレンジアミンナトリウム、ラウリルジメチルアミノ酢酸ベタイン、ヤシ油アルキルジメチルアミノ酢酸ベタイン、ステアリルジメチルアミノ酢酸ベタイン、ステアリルジメチルベタインナトリウム、ヤシ油脂肪酸アミドプロピルベタイン、パーム油脂肪酸アミドプロピルベタイン、ラウリン酸アミドプロピル酢酸ベタイン、リシノレイン酸アミドプロピルベタイン、ステアリルジヒドロキシエチルベタイン、ラウリルヒドロキシルホベタイン等の両性界面活性剤；

#### 【0034】

ポリオキシエチレン（10）アルキル（12，13）エーテル、ポリオキシエチレンラウリルエーテル、ポリオキシエチレンセチルエーテル、ポリオキシエチレンステアリルエーテル、ポリオキシエチレンオレイルエーテル、ポリオキシエチレン（3，7，12）アルキル（12～14）エーテル、ポリオキシエチレントリデシルエーテル、ポリオキシエチレンミリスチルエーテル、ポリオキシエチレン-s e c-アルキル（14）エーテル、ポリオキシエチレンイソセチルエーテル、ポリオキシエチレンセトステアリルエーテル、ポリオキシエチレン（2，10，20）イソステアリルエーテル、ポリオキシエチレンオレイルセチルエーテル、ポリオキシエチレン（20）アラキルエーテル、ポリオキシエチレンオクタルドデシルエーテル、ポリオキシエチレンベヘニルエーテル、ポリオキシエチレンオクタルフエニルエーテル、ポリオキシエチレンノニルフエニルエーテル、ポリオキシエチレンジノニルフエニルエーテル、ポリオキシエチレン（1）ポリオキシプロピレン（1，2，4，8）セチルエーテル、ポリオキシエチレン（5）ポリオキシプロピレン（1，2，4，8）セチルエーテル、ポリオキシエチレン（10）ポリオキシプロピレン（1，2，4，8）セチルエーテル、ポリオキシエチレン（20）ポリオキシプロピレン（1，2，4，8）セチルエーテル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンラウリルエーテル、ポリオキシエチレン（3）ポリオキシプロピレン（34）ステアリルエーテル、ポリオキシエチレン（4）ポリオキシプロピレン（30）ステアリルエーテル、ポリオキシエチレン（34）ポリオキシプロピレン（23）ステアリルエーテル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンセチルエーテル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンデシルテトラデシルエーテル、モノラウリン酸ポリエチレングリコール、モノステアリン酸エチレングリコール、モノステアリン酸ポリエチレングリコール、モノオレイン酸ポリエチレングリコール、エチレングリコール脂肪酸エステル、自己乳化型モノステアリン酸エチレングリコール、ラウリン酸ジエチレングリコール、ミリスチン酸ポリエチレングリコール、パルミチン酸ポリエチレングリコール、ステアリン酸ジエチレングリコール、自己乳化型モノステアリン酸ポリエチレングリコール（2）、イソステアリン酸ポリエチレングリコール、ジオクタン酸エチレングリコール、ジラウリン酸ジエチレングリコール、ジ

ラウリン酸ポリエチレングリコール、ジパルミチン酸ポリエチレングリコール (150)、ジステアリン酸エチレングリコール、ジステアリン酸ジエチレングリコール、ジステアリン酸ポリエチレングリコール、ジオレイン酸エチレングリコール、ジオレイン酸ポリエチレングリコール、ジリシノレイン酸ポリエチレングリコール、モノラウリン酸ポリオキシエチレン (20) ソルビタン、モノパルミチン酸ポリオキシエチレン (20) ソルビタン、モノステアリン酸ポリオキシエチレン (6) ソルビタン、モノステアリン酸ポリオキシエチレン (20) ソルビタン、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (20) ソルビタン、モノオレイン酸ポリオキシエチレン (6) ソルビタン、モノオレイン酸ポリオキシエチレン (20) ソルビタン、トリオレイン酸ポリオキシエチレン (20) ソルビタン、ポリオキシエチレン (20) ヤシ油脂肪酸ソルビタン、モノラウリン酸ポリオキシエチレン (10~80) ソルビタン、トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン、イソステアリン酸ポリオキシエチレン (20) ソルビタン、トリステアリン酸ポリオキシエチレン (150) ソルビタン、ポリオキシエチレンヒマシ油、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレン (10) 硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレン (20) 硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレン (40) 硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレン (50) 硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレン (60) 硬化ヒマシ油、親油型モノステアリン酸グリセリン、親油型モノオレイン酸グリセリン、自己乳化型モノステアリン酸グリセリン、ヤシ油脂肪酸グリセリル、ラウリン酸グリセリン、ミリスチン酸グリセリル、イソステアリン酸グリセリル、リシノレイン酸グリセリル、モノヒドロキシステアリン酸グリセリル、オレイン酸グリセリン、リノール酸グリセリル、エルカ酸グリセリル、ベヘン酸グリセリル、小麦胚芽油脂肪酸グリセリド、サフラワー油脂肪酸グリセリル、水素添加大豆脂肪酸グリセリル、飽和脂肪酸グリセリド、綿実油脂肪酸グリセリル、モノイソステアリン酸モノミリスチン酸グリセリル、モノ牛脂肪酸グリセリド、モノラノリン脂肪酸グリセリル、セスキオレイン酸グリセリル、ジステアリン酸グリセリル、ジイソステアリン酸グリセリル、ジアラキシン酸グリセリル、モノラウリン酸ソルビタン、モノパルミチン酸ソルビタン、モノステアリン酸ソルビタン、モノイソステアリン酸ソルビタン、モノオレイン酸ソルビタン、セスキステアリン酸ソルビタン、セスキオレイン酸ソルビタン、トリステアリン酸ソルビタン、トリオレイン酸ソルビタン、ヤシ油脂肪酸ソルビタン、イソステアリン酸ソルビタン、セスキイソステアリン酸ソルビタン、ジステアリン酸ソルビタン、イソパルミチン酸ジグリセリル、モノラウリン酸ポリ (4~10) グリセリル、モノミリスチン酸ポリ (10) グリセリル、モノステアリン酸ポリ (2~10) グリセリル、モノイソステアリン酸ポリ (2~10) グリセリル、モノオレイン酸ポリ (2~10) グリセリル、セスキオレイン酸ジグリセリル、ジイソステアリン酸ポリ (2~10) グリセリル、ジステアリン酸ポリ (6~10) グリセリル、トリイソステアリン酸ジグリセリル、トリステアリン酸ポリ (10) グリセリル、トリオレイン酸ポリ (10) グリセリル、テトライソステアリン酸ポリ (2) グリセリル、ペントステアリン酸デカグリセリル、ペンタオレイン酸ポリ (6~10) グリセリル、ヘプタステアリン酸ポリ (10) グリセリル、デカステアリン酸デカグリセリル、デカオレイン酸ポリ (10) グリセリル、縮合リシノレイン酸ポリ (6) グリセリル、ショ糖脂肪酸エステル、ヤシ油脂肪酸ショ糖エステル、アルキルグルコシド、ヤシ油アルキルジメチルアミンオキシド、ラウリルジメチルアミンオキシド、ジヒドロキシエチルラウリルジメチルアミンオキシド、ステアリルジメチルアミンオキシド、オレイルジメチルアミンオキシド、ポリオキシエチレンヤシ油アルキルジメチルアミンオキシド、等の非イオン界面活性剤；

#### 【0035】

サポニン、レシチン、大豆リン脂質、水素添加大豆リン脂質、大豆リゾリン脂質、水素添加大豆リゾリン脂質、卵黄レシチン、水素添加卵黄リゾホスファチジルコリン、ホスファチジルコリン、ホスファチジルエタノールアミン、ホスファチジルセリン、スフィンゴリン脂質、スフィンゴミエリン、ガングリオシド、胆汁酸、コール酸、デオキシコール酸、コール酸ナトリウム、デオキシコール酸ナトリウム、スピクリスボール酸、ラムノリピッド、トレハロースリピッド、ソホロリピッド、マンノシルエリスリトールリピッド、等

の天然系界面活性剤；

【0036】

パラアミノ安息香酸、パラアミノ安息香酸エチル、パラアミノ安息香酸グリセリル、パラジメチルアミノ安息香酸アミル、パラジメチルアミノ安息香酸2-エチルヘキシル等のパラアミノ安息香酸誘導体、ケイ皮酸ベンジル、ジパラメトキシケイ皮酸モノ-2-エチルヘキサン酸グリセリル、2, 4-ジイソプロピルケイ皮酸メチル、2, 4-ジイソプロピルケイ皮酸エチル、パラメトキシケイ皮酸カリウム、パラメトキシケイ皮酸ナトリウム、パラメトキシケイ皮酸イソプロピル、パラメトキシケイ皮酸2-エチルヘキシル、パラメトキシケイ皮酸2-エトキシエチル、パラエトキシケイ皮酸エチル等のケイ皮酸誘導体、ウロカニン酸、ウロカニン酸エチル等のウロカニン酸誘導体、2, 4-ジヒドロキシベンゾフェノン、2, 2', 4, 4'-テトラヒドロキシベンゾフェノン、2-ヒドロキシ-4-メトキシ-5-スルホベンゾフェノンナトリウム、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン、2, 2'-ジヒドロキシ-4, 4'-ジメトキシベンゾフェノン、2, 2'-ジヒドロキシ-4, 4'-ジメトキシ-5-スルホベンゾフェノンナトリウム等のベンゾフェノン誘導体、サリチル酸エチレングリコール、サリチル酸-2-エチルヘキシル、サリチル酸フェニル、サリチル酸ベンジル、サリチル酸p-tert-ブチルフェニル、サリチル酸ホモメンチル、サリチル酸-3, 3, 5-トリメチルシクロヘキシル等のサリチル酸誘導体、2-(2'-ヒドロキシ-5'-メトキシフェニル)ベンゾトリアゾール、4-tert-ブチル-4'-メトキシベンゾイルメタン等の紫外線吸収剤；

【0037】

カオリン、無水ケイ酸、ケイ酸アルミニウムマグネシウム、セリサイト、タルク、窒化ホウ素、マイカ、モンモリロナイト、麻セルローズ末、小麦デンプン、シルク末、トウモロコシデンプン、ニトロ系色素、アゾ系色素、ニトロソ系色素、トリフェニルメタン系色素、キサンテン系色素、キノリン系色素、アントラキノン系色素、インジゴ系色素、ピレン系色素、フタロシアニン系色素、フラボノイド、キノン、ボルフィリン、水溶性アナトー、イカスミ末、カラメル、グアイアズレン、クチナシ青、クチナシ黄、コチニール、シコニン、銅クロロフィリンナトリウム、パプリカ色素、ベニバナ赤、ベニバナ黄、ラッカイン酸、リボフラビン酪酸エステル等の天然色素、カーボンブラック、黄酸化鉄、黒酸化鉄、ベンガラ、コンジョウ、群青、酸化亜鉛、酸化クロム、酸化チタン、黒酸化チタン、酸化ジルコニウム、水酸化クロム、アルミナ、酸化マグネシウム、硫酸バリウム、水酸化アルミニウム、炭酸カルシウム、チタン酸リチウムコバルト、マンガンバイオレット、パール顔料等の粉体類および色材類；

【0038】

アシタバエキス、アセンヤクエキス、アボガドエキス、アマチャエキス、アマチャズルエキス、アルテアエキス、アルニカエキス、油性アルニカエキス、アルモンドエキス、アロエエキス、アンソッコウエキス、イチョウエキス、イラクサエキス、イリス根エキス、ウイキョウエキス、ウコンエキス、エイジツエキス、エチナシ葉エキス、オウゴンエキス、オウバクエキス、オウレンエキス、オオムギエキス、オクラエキス、オトギリソウエキス、油性オトギリソウエキス、オドリコソウエキス、油性オドリコソウエキス、オノニスエキス、オランダカラシエキス、オレンジエキス、オレンジフラワー水、海藻エキス、カキタンニン、カッコンエキス、カノコソウエキス、ガマエキス、カモミラエキス、油性カモミラエキス、カモミラ水、カラスムギエキス、カロットエキス、油性カロットエキス、カロット油、カワラヨモギエキス、カンゾウエキス、カンゾウ抽出末、カンゾウフラボノイド、カンタリスチンキ、キイチゴエキス、キウイエキス、キナエキス、キューカンバーエキス、キョウニンエキス、クインシードエキス、クチナシエキス、クマザサエキス、クララエキス、クルミ殻エキス、グレープフルーツエキス、クレマティスエキス、黒砂糖エキス、クロレラエキス、クワエキス、ケイヒエキス、ゲンチアナエキス、ゲンノショウコエキス、紅茶エキス、コウホネエキス、ゴボウエキス、油性ゴボウエキス、コムギ胚芽エキス、加水分解コムギ末、コメヌカエキス、コメヌカ発酵エキス、コン

フリーエキス、サイシンエキス、サフランエキス、サボンソウエキス、油溶性サルビアエキス、サンザシエキス、サンショウエキス、シイタケエキス、シイタケエキス末、ジオウエキス、シコンエキス、油溶性シコンエキス、シソエキス、シナノキエキス、油溶性シナノキエキス、シモツケソウエキス、シャクヤクエキス、ジュズダマエキス、ショウキョウエキス、油溶性ショウキョウエキス、ショウキョウチンキ、ショウブ根エキス、シラカバエキス、油溶性シラカバエキス、シラカバ樹液、スイカズラエキス、スギナエキス、油溶性スギナエキス、スコルジニン、ステビアエキス、セイヨウキズタエキス、セイヨウサンザシエキス、セイヨウニワトコエキス、セイヨウネズエキス、セイヨウノコギリソウエキス、油溶性セイヨウノコギリソウエキス、セイヨウハッカエキス、セージエキス、油溶性セージエキス、セージ水、ゼニアオイエキス、セロリエキス、センキュウエキス、センキュウ水、センブリエキス、ダイズエキス、タイソウエキス、タイムエキス、チャエキス、チャ乾留液、チャ実エキス、チョウジエキス、チンピエキス、ツバキエキス、ツボクサエキス、油溶性テウチグルミエキス、デュークエキス、テルミナリアエキス、トウガラシチンキ、トウキエキス、油溶性トウキエキス、トウキ水、トウキンセンカエキス、油溶性トウキンセンカエキス、豆乳末、トウニンエキス、トウヒエキス、ドクダミエキス、トマトエキス、トルメンチラエキス、納豆エキス、ニンジンエキス、油溶性ニンジンエキス、ニンニクエキス、ノバラエキス、油溶性ノバラエキス、バクガエキス、バクガ根エキス、バクモンドウエキス、パセリエキス、ハダカムギ葉汁濃縮物、蒸留ハッカ水、ハマメリス水、ハマメリス抽出液、バラエキス、パリエタリアエキス、ヒキオコシエキス、ビワ葉エキス、油溶性ビワ葉エキス、フキタンポポエキス、ブクリョウエキス、ブッチャーブルームエキス、ブッチャーブルームエキス末、ブドウエキス、ブドウ葉エキス、ブドウ水、ハイフラワーエキス、ヘチマエキス、ヘチマ水、ベニバナエキス、油溶性ボダイジュエキス、ボダイジュ水、ボタンエキス、ホップエキス、油溶性ホップエキス、マツエキス、マリアアザミエキス、マロニエエキス、油溶性マロニエエキス、ムクロジエキス、メリッサエキス、メリロートエキス、モモ葉エキス、油溶性モモ葉エキス、モヤシエキス、ヤグルマギクエキス、ヤグルマギク水、ユーカリエキス、ユキノシタエキス、ユリエキス、ヨクイニンエキス、油溶性ヨクイニンエキス、ヨモギエキス、ヨモギ水、ラベンダーエキス、ラベンダー水、リンゴエキス、レイシエキス、レタスエキス、レモンエキス、レンゲソウエキス、ローズ水、ローズマリーエキス、油溶性ローズマリーエキス、ローマカミツレエキス、ワレモコウエキス等の植物抽出物；

#### 【0039】

グリシン、アラニン、バリン、ロイシン、イソロイシン、セリン、トレオニン、フェニルアラニン、チロシン、トリプトファン、シスチン、システイン、メチオニン、プロリン、ヒドロキシプロリン、アスパラギン酸、アスパラギン、グルタミン酸、グルタミン、アルギニン、ヒスチジン、リシン、 $\gamma$ -アミノ酪酸、DL-ピロリドンカルボン酸、 $\epsilon$ -アミノカプロン酸、加水分解エラスチン、水溶性エラスチン、加水分解コラーゲン、水溶性コラーゲン、カゼイン、グルタチオン、小麦ペプチド、大豆ペプチド等のアミノ酸類及びペプチド類；

#### 【0040】

レチノール、レチナール、レチノイン酸、酢酸レチノール、パルミチン酸レチノール等のビタミンA類、 $\alpha$ -カロチン、 $\beta$ -カロチン、 $\gamma$ -カロチン、 $\delta$ -カロチン、リコピン、ゼアキササンチン、クリプトキササンチン、エキネノン、アスタキササンチン等のカロテノイド類、チアミン類等のビタミンB1類、リボフラビン等のビタミンB2類、ピリドキシン、ピリドキサル、ピリドキサミン等のビタミンB6類、シアノコバラミン等のビタミンB12類、葉酸類、ニコチン酸、ニコチン酸アミド、パントテン酸類、ビオチン類、L-アスコルビン酸、L-アスコルビン酸ナトリウム、ステアリン酸L-アスコルビル、パルミチン酸L-アスコルビル、ジパルミチン酸L-アスコルビル、テトライソパルミチン酸L-アスコルビル、L-アスコルビン酸硫酸エステル二ナトリウム、L-アスコルビルマグネシウム、リン酸L-アスコルビルナトリウム、L-アスコルビン酸-2-グルコシド等のビタミンC類、エルゴカルシフェロール、コレカルシフェロール等のビタミンD類、

d- $\alpha$ -トコフェロール、DL- $\alpha$ -トコフェロール、酢酸dl- $\alpha$ -トコフェロール、コハク酸dl- $\alpha$ -トコフェロール、 $\beta$ -トコフェロール、 $\gamma$ -トコフェロール、d- $\delta$ -トコフェロール等のビタミンE類、ユビキノン類、ビタミンK類、カルニチン、フェルラ酸、 $\gamma$ -オリザノール、 $\alpha$ -リボ酸、オロット酸等のビタミン類及びビタミン様作用因子類；

【0041】

安息香酸、安息香酸ナトリウム、ウンデシレン酸、サリチル酸、ソルビン酸、ソルビン酸カリウム、デヒドロ酢酸、デヒドロ酢酸ナトリウム、パラオキシ安息香酸イソブチル、パラオキシ安息香酸イソプロピル、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸ブチル、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸ベンジル、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸メチルナトリウム、フェノキシエタノール、感光素101号、感光素201号、感光素401号等の防腐剤；

【0042】

ブチルヒドロキシアニソール、ブチルヒドロキシトルエン、没食子酸プロピル、エリソルビン酸、エリソルビン酸ナトリウム、パラヒドロキシアニソール、没食子酸オクチル等の酸化防止剤；

【0043】

エチレンジアミンヒドロキシエチル三酢酸三ナトリウム、エデト酸、エデト酸二ナトリウム、エデト酸三ナトリウム、エデト酸四ナトリウム、クエン酸ナトリウム、グルコン酸、フィチン酸、ポリリン酸ナトリウム、メタリン酸ナトリウム等の金属イオン封鎖剤；

【0044】

ヒアルロン酸、ヒアルロン酸ナトリウム、コンドロイチン硫酸ナトリウム、乳酸ナトリウム、ピロリドンカルボン酸ナトリウム、ベタイン、乳酸菌培養液、酵母エキス、セラミド等の保湿剤；

【0045】

グリチルリチン酸、グリチルリチン酸三ナトリウム、グリチルリチン酸ジカリウム、グリチルリチン酸モノアンモニウム、 $\beta$ -グリチルレチン酸、グリチルレチン酸グリセリン、グリチルレチン酸ステアシル、塩化リゾチーム、ヒドロコルチゾン、アラントイン等の抗炎症剤；

【0046】

水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、トリエタノールアミン等のpH調整剤；  
塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化マグネシウム、硫酸ナトリウム等の塩類；  
クエン酸、グリコール酸、酒石酸、乳酸等の $\alpha$ -ヒドロキシ酸類；  
アルブチン、 $\alpha$ -アルブチン、プラセンタエキス等の美白剤；

【0047】

アンゼリカ油、イランイラン油、エレミ油、オレンジ油、カミツレ油、ローマカミツレ油、カルダモン油、カラムス油、ガルバナム油、カンファー油、キャロットシード油、クラーリセージ油、グレープフルーツ油、チョウジ油、ケイヒ油、コリアンダー油、サイプレス油、サンダルウッド油、シダーウッド油、シトロネラ油、シナモンリーフ油、ジャスミンアブソリュート、ジュニパーベリー油、ジンジャーエクストラクト、スペアミント油、セージ油、セダー油、ゼラニウム油、タイム油、ティーツリー油、ナツメグ油、ニアウリ油、ネロリ油、パイン油、バジル油、ハッカ油、パチュリー油、パルマローザ油、フェンネル油、プチグレン油、ブラックペッパー油、フランキンセンス油、ベチバ油、ペパーミント油、ベルガモット油、ベンゾイン油、ボアドローズ油、マジョラム油、マンダリン油、ミルラ油、メリッサ油、ユーカリ油、ゆず油、ライム油、ラベンサラ油、ラバンジン油、ラベンダー油、リンデン油、レモン油、レモングラス油、ローズ油、ローズウッド油、ローズマリー油、ロベージ油等の精油類；

【0048】

リモネン、ピネン、テルピネン、テルピノーレン、ミルセン、ロンギフィーレン等のテルペン類；

香料、水等が挙げられる。

【0049】

さらに、本発明の化粧料には、既存の化粧品原料を一般的な濃度で添加することもできる。例えば、化粧品原料基準第二版注解、日本公定書教会編、1984（薬事日報社）、化粧品原料基準外成分規格、厚生省薬務局審査課監修、1993（薬事日報社）、化粧品原料基準外成分規格追補、厚生省薬務局審査課監修、1993（薬事日報社）、化粧品種別許可基準、厚生省薬務局審査課監修、1993（薬事日報社）、化粧品種別配合成分規格、厚生省薬務局審査課監修、1997（薬事日報社）、及び化粧品原料辞典、平成3年（日光ケミカルズ）等に記載されている全ての化粧品原料を使用することができる。

【0050】

これらの好ましい含有量は化粧料全量の0.01～80質量%であり、より好ましくは0.1～25質量%であり、さらに好ましくは0.3～10質量%である。

このようにして得られる本発明の化粧料は、皮膚刺激がなく、化粧水、ローション、乳液、美容液、美容クリーム、クレンジングジェル、クレンジングクリーム、パック等の基礎化粧料、化粧下地、ファンデーション、アイシャドウ、リップカラー、リップグロス等のメイクアップ化粧料、マッサージジェル、マッサージクリーム等のマッサージ化粧料、ヘアクリーム、スタイリングジェル、ヘアワックス等の頭髮用化粧料等として極めて優れている。

【発明の効果】

【0051】

本発明の化粧料は、皮膚刺激性が極めて低く、使用感及び保存安定性に優れる。特に、クレンジング化粧料とした場合には洗い流し性も良好となる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0052】

以下、実施例により本発明をさらに詳細に説明するが、本発明はこれら実施例になんら限定されるものではない。なお、以下で掲げる例においてグリセリンは含量98質量%以上のものを使用した。また、サーファクチンナトリウムは昭和電工株式会社製アミノフェクト（登録商標）を使用した。%は質量%である。

【0053】

実施例1～10及び比較例1～4：クレンジング化粧料

表1記載の組成で下記の調製法に従いクレンジング化粧料を調製した。これらを用いて保存安定性試験を行った。

保存安定性試験は試料をガラスビンに入れ、50℃で1週間放置後の状態及び外観を観察し分離などの変化が認められる場合を×、変化が認められない場合を○として評価した。また、各例の化粧料を用いて洗い流し性試験を行った。

洗い流し性試験は、試料を皮膚に塗布後、水道水で洗い流した後の油残り感を、油残りがほとんど無いものを○、油残りが少しあるものを△、油残りがかなりあるものを×で評価した。

【0054】



【表 1】

表 1 : 化粧料の組成

成 分 (質量%)	実 施 例										比 較 例			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4
サーファクチンナトリウム	1	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	0.2	2	0.9	0.9	0.9	—	0.05	10
グリセリン	24.5	19.1	19.1	37.4	37.4	37.4	24.5	24.5	37.4	37.4	37.4	37.4	24.5	24.5
トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン(20)グリセリル	4.7	9.7	15.4	—	—	—	4.7	4.7	0.2	—	—	1.8	4.7	4.7
テトラオレイン酸ポリオキシエチレン(30)ソルビット	—	—	—	13.2	17.7	1.7	—	—	—	0.2	—	—	—	—
スクワラン	—	—	—	33	29.5	41.9	—	—	42.4	42.4	43.4	42.5	—	—
トリ2-エチルヘキサン酸グリセリン	65.4	—	—	9.9	8.9	12.5	66.3	64.4	12.7	12.7	12.7	12.7	66.4	55.4
トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリン	—	67.5	61.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水	4.4	3	3	5.6	5.6	5.6	4.4	4.4	5.6	5.6	5.6	5.6	4.4	4.4
結 果														
保存安定性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
洗い流し性	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	○	○	○

## 化粧料の調製法:

グリセリンにサーファクチンナトリウムを溶解し、そこに水以外の残りの成分を少量ずつ添加し均一になるまで攪拌した。さらに水を添加し均一になるまで攪拌した。

## 結果:

表1より明らかなように、本発明のクレンジング化粧料(実施例1~10)は比較例1~4のクレンジング化粧料と比べて、保存安定性または洗い流し性に優れていた。

## 【0055】

## 実施例11~13: クリーム

表2記載の組成で下記の調製法に従いクリームを調製した。

## 【表2】

表2: クリームの組成

	実施例11	実施例12	実施例13
A成分(質量%)			
スクワラン	8	8	8
オリーブ油	3	3	—
ホホバ油	1	—	3
メチルポリシロキサン	—	1	1
セトステアリルアルコール	1	1	—
DL- $\alpha$ -トコフェロール	0.1	0.1	0.1
イソステアリン酸ポリオキシエチレン(10)グリセリル	0.4	—	0.4
テトラオレイン酸ポリオキシエチレン(40)ソルビット	—	0.4	—
B成分(質量%)			
グリセリン	6	6	6
1,3-ブタンジオール	1	1	1
サーファクチンナトリウム	1	1	1
フェノキシエタノール	0.3	0.3	0.3
メチルパラベン	0.2	0.2	0.2
カルボキシビニルポリマー	0.4	0.4	0.4
水酸化カリウム	0.2	0.2	0.2
キサンタンガム	0.2	0.2	0.2
香料	0.02	0.02	0.02
精製水	残量	残量	残量

## 調製法：

A 成分及び B 成分を各々 8 0 ℃ で溶解した後、混合、攪拌しながら 3 0 ℃ まで冷却し、室温まで放置した。

これら実施例 1 1 ～ 1 3 の組成物を用いて前記の保存安定性試験を行ったところ、優れた保存安定性を示した。得られたクリームは、保湿性に優れ、刺激が無く、なめらかな使用感であった。

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 皮膚刺激性が極めて低く、使用感に優れ、安定で、クレンジング化粧料とした場合には洗い流し性が良好な化粧料を提供する。

【解決手段】 リポペプチド類化合物を0.1～5質量%と、ポリオキシエチレングリセリルエーテル脂肪酸エステル及び／またはポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルを0.1～20質量%含む化粧料組成物。

【選択図】 なし

## 認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2003-303811
受付番号	50301419496
書類名	特許願
担当官	第五担当上席 0094
作成日	平成15年 9月 3日

## &lt;認定情報・付加情報&gt;

## 【特許出願人】

【識別番号】	000002004
【住所又は居所】	東京都港区芝大門1丁目13番9号
【氏名又は名称】	昭和電工株式会社

## 【代理人】

【識別番号】	100117732
【住所又は居所】	東京都中央区日本橋人形町2丁目2番6号 堀口 第二ビル7階 大家特許事務所
【氏名又は名称】	小澤 信彦

## 【代理人】

【識別番号】	100121050
【住所又は居所】	東京都中央区日本橋人形町2丁目2番6号 堀口 第2ビル7階 大家特許事務所
【氏名又は名称】	林 篤史

## 【代理人】

【識別番号】	申請人
【識別番号】	100081086
【住所又は居所】	東京都中央区日本橋人形町2丁目2番6号 堀口 第2ビル7階 大家特許事務所
【氏名又は名称】	大家 邦久

特願 2003-303811

出願人履歴情報

識別番号

[000002004]

1. 変更年月日

1990年 8月27日

[変更理由]

新規登録

住所

東京都港区芝大門1丁目13番9号

氏名

昭和電工株式会社